

なめがわ 議会だより

第124号

平成29年2月1日

発 行 者 滑川町議会
責 任 者 議長 長谷川 元夫
編 集 者 議会広報発行対策特別委員会
比企郡滑川町福田750-1
T E L 0493(56)6913
F A X 0493(56)5522



初日の出と子どもたち

ターナちゃん

- ◎ 平成28年度一般会計・
各特別会計補正予算を審議…………… 2～3
- ◎ 文教厚生常任委員会…………… 4
- ◎ 議会運営委員会…………… 5
- ◎ 請願審議…………… 6
- ◎ 8議員が町政へ質問…………… 7～14

◎12月定例会

第204回 12月定例会

平成28年12月定例会が12月6日より12月12日までの7日間の会期で開かれ、一般会計・特別会計予算、条例の一部改正など、16議案・発議2件が慎重審議の結果すべて原案どおり可決承認されました。さらに請願1件が審議され、採択となりました。

なお、一般質問は8名の議員がそれぞれ町の施策や考えを質しました。



議案番号	件名	審議結果
議案第66号	滑川町町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決(賛成全員)
議案第67号	滑川町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決(賛成全員)
議案第68号	滑川町一般職職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決(賛成全員)
議案第69号	滑川町税条例の一部を改正する条例の制定について	可決(賛成全員)
議案第70号	滑川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決(賛成全員)
議案第71号	平成28年度滑川町一般会計補正予算(第4号)の議定について	可決(賛成全員)
議案第72号	平成28年度滑川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の議定について	可決(賛成全員)
議案第73号	平成28年度滑川町介護保険特別会計補正予算(第2号)の議定について	可決(賛成全員)
議案第74号	平成28年度滑川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の議定について	可決(賛成全員)
議案第75号	平成28年度滑川町下水道事業特別会計補正予算(第3号)の議定について	可決(賛成全員)
議案第76号	平成28年度滑川町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)の議定について	可決(賛成全員)
議案第77号	平成28年度滑川町浄化槽事業特別会計補正予算(第3号)の議定について	可決(賛成全員)
議案第78号	平成28年度滑川町水道事業会計補正予算(第3号)の議定について	可決(賛成全員)
議案第79号	字の区域を変更することについて	可決(賛成全員)
議案第80号	町道路線の廃止について	可決(賛成全員)
議案第81号	町道路線の認定について	可決(賛成全員)
発議第3号	滑川町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決(賛成全員)
請願第5号	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願書(総務経済建設常任委員会審査報告)	採択(賛成全員)
発議第4号	建設アスベスト訴訟の早期解決と被害者の救済を求める意見書(案)の提出について	可決(賛成全員)

定例会 会期日程

12月6日 本会議

・ 諸般の報告 長谷川議長
・ 行政報告 吉田町長
小澤教育長

・ 所管事務の調査報告
(議会運営委員会・文教厚
生常任委員会)

・ 町長提出議案の一括上程、説明
請願1件

・ 一般質問(3名)
北堀議員
森田議員
阿部議員

12月7日 本会議

・ 一般質問(5名)
井上議員
菅問議員
松本議員
上野議員
宮島議員

12月8日
全員協議会

総務経済建設常任委員会
(請願審査)

12月9日 本会議

・ 議案審議
議案第66号～第81号
発議第3号

請願第5号(審査報告)
(日程の追加)
発議第4号

議案審議Q&A

《補正予算審議》

Q 保育園への入所の要望が強まっているのではないかと。

A 育児休暇が1年のため、1年児の入園が多く見込まれている。認可外の施設の認可化や滑川町内の子を多く受け入れるなどしていく。

不足している職員の補充も課題。国は10割見ないので、町の負担が大きい。待機児童と施設の問題は、大きな問題として町でも取り組む課題。幼稚園では新入園児がこの間90名前後で推移している。核家族化の中で減少傾向にある。

Q 子育て世代は就労の要求が大きくなっている。幼稚園は町立で職員は公務員。保育は委託の民間保育園で、労働条件に格差が生じているが。

A 保育園の職員待遇の改善は国の指針に基づいて行っていく。国が2分の1を持つというが実際は3分の1で自治体負担が多い。大幅な補助金支給がされるべきだ。

《人事院勧告に基づく職員の給与改定について》

Q 町の一般職員の給与改定が人事院勧告に基づいて待遇改善が行われることは評価する。今回、特別職や議員の改定まで行われる。同じ町の仕事を行っている臨時職員や委託などで働く人の待遇改善についての考え方は。

A 臨時職員については最低賃金などをもとにしている。埼玉県で最低賃金は845円で町の臨時職員850円が上回っている。また、発注、委託の賃金については国で示されている基準をもとに適正な契約を行っている。

Q 最低賃金は昨年820円が845円に上げられた。3%の引き上げだ。人勤も引き上げられた。臨時職員も上げるべきだ。均等待遇という考えは一方の賃金が上げられたら、同じ町の仕事をする職員の賃金の改善も必要だ。

A 最低賃金や近隣の市町村の状況を見て検討する。町内の事業所にも影響する。その辺の均衡性も考慮していく。

要望 民間事業所の賃金の底上げのためにも、町の臨時職員の引き上げは必要だ。また、公契約の改善と条例の制定を求める。

《文化財保護について》

Q 文化財保護費、重機借上料、35万6千円が計上された内容をうかがう。

A 和泉地内泉福寺の北側に太陽光発電の設置に伴う埋蔵文化財の調査費用。

Q 開発場所、面積、事業者名、工事期間は。

A 滑川町和泉勝達、西裏、面積は21,584㎡、東京都千代田区麹町1丁目3番地23号、MegaSolar 14081合同会社、代表ブランコ・クエスタ・イグナシオ・ハビエル氏。工事期間は平成29年4月1日～11月1日の予定。

Q 文化財保護の観点から慎重な調査をお願いしたい。調査の内容は。

A 面積の10%程度の試掘、調査は4日間、必要と認められた時には延長もある。

《東松山斎場施設整備事業について》

Q 東松山斎場は、供用開始から34年が経過し、斎場の老朽化が進行しているということで、平成28年7月東松山斎場施設整備基本計画を策定。新型火葬炉8基、ペット専用火葬炉の設置は納得するが、滑川町民の利用が多い斎場を閉鎖し、式場の無い火葬炉のみの斎場にする計画である。第二斎場だけでも、残すようパブリックコメントの実施時に地元要望していたが、昨年12月4日、地元説明会では、式場は造らないと決定したとのこと。滑川町には斎場はなく、納得できない。

町の考えは。

A 町としても、特に第二斎場がなくなることは、町民に不便をかけると思っている。JAが東松山斎場から歩いていける場所に斎場を計画していると聞いている。

要望 東松山市松山町の住民が、斎場をなくすことに反対の署名を集めていると聞いている。特に、第二斎場は平成6年に増築した建物で、和式から洋式に改装し、稼働率の高い斎場である。

滑川町からも第二斎場だけでも残していただけるよう要望していただきたい。



稼働中の第二斎場

文教厚生常任委員会 所管事務調査報告

- 【調査日】平成28年10月26・27日
【調査地】福島県東白川郡矢祭町／白河市
【調査内容】①子ども、子育てについて
②行政運営について
③歴史・文化について



1 矢祭町の概要

矢祭町は、福島県中通地区の最南端に位置し、東北地方で最も南端の地にある。人口約6,000人、面積118.27km²の町である。平成13年10月に町議会が宣言した「市町村合併をしない矢祭宣言」をして独自の行政運営を行っている。大きな市や町と合併すると町が吸収されてしまい、独自の行政運営ができなくなるとの考えである。

そのために徹底して行財政改革を断行し、自らできることは自分たちで行うとの考え方に基つき、副町長を始め町の職員でトイレ掃除、庁舎の掃除等を行っている。議員の人数も大幅に減少させ、18人から10人にして運営している。議員報酬も月額報酬から日額報酬にして1日3万円である。以前の3分の1以下とのことである。生み出した財源を子ども、子育て等に当てている。第3子に100万円、第4子に150万円、第5子以降には200万円を支給している。

職員宅を「出張役場制度」として、高齢者や体の不自由な人のために各種届出ができる制度を行っている。

自立する町として、町民が暮らしやすい町にするため、一歩一歩その歩みを進めている。

2 やまつりこども園

保育料は国の基準の3分の1である。
人数は保育園73人、幼稚園131人である。

保育園、幼稚園が一体となった施設であり、0才〜2才までを保育園、3才〜5才までを幼稚園として運営している。食堂があり、給食はすべて厨房で作っている。給食費の一部は町負担で、子どもは1食100円を負担している。朝7時から夕方6時半まで預っている。



やまつりこども園

3 矢祭もつたない図書館

平成17年12月の町の総合計画による町民アンケート結果から、図書館の開設の要望が多く寄せられた。その後、町の職員が図書館づくりの講演をしたところ、新聞社の目にとまり全国版に掲載され、約6,000人の方たちから45万冊の本が寄贈された。町の武道館を改装して開館した。

4 南湖公園

現在には多く集まりすぎたので受け入れを停止している。町で所有していた7,000冊以外はすべて寄贈品である。高価な本も多数並んでいる。

松平定信によって作られた公園である。湿地帯の所に土を盛り上げて土手を作り、湖にして公園を作った。日本最古の公園と言われている。町民たちを雇い完成させた。

日本最古の公共工事である「土民共楽」として武士も町民も分け隔てなく楽しんだのが特徴である。

5 感想・まとめ

矢祭町は、独自の考え方で町づくりをしていることが良く理解できた。

全国の自治体に先駆けて、歳出を削るだけでなく、必要などころには目配りをしている。住民サービス向上に努めている。

税金滞納対策として、夜は超過勤務手当のかからない課長が担当している。

白河市の歴史民俗資料館の展示品の中で、埴輪などは滑川町の保管品の方が価値があるように思われた。滑川町でも多くの町民に見てもらおう工夫が必要であると思う。

議会運営委員会 所管事務調査報告

【調査日】平成28年11月7・8日

【調査地】宮城県宮城郡松島町議会仮庁舎

【調査内容】①議会報告会の実施内容と実績について
②東日本大震災後の復興状況について



松島町仮庁舎

1 松島町の現状

現在、人口14,425人（平成27年国調）、世帯数5,105、議員定数14人現在13人、欠員1人。人口は減少傾向にあるが、年間約300万人の観光客が来遊する観光業をはじめ、農業、漁業、商業などの産業がバランスよく発達し、町の活力を支えている。町内に、東北本線、仙石線の合計7つの駅、そして主要な県道・国道のほか三陸縦貫自動車道の2つのインターチェンジがあり、交通の便が良い。

2 議会報告会の実施内容と実績

松島町議会報告会は、平成20年9月に、第1回が開催され、今年度で9回目になる。

議員が各地域に出向き、町民と議員とが自由に情報交換・意見交換する場になっている。

①年間スケジュール

・議会報告会班長会議（1班4人の議員、3班編成、班長3人）を6月から10月まで5回、議会としての準備を行い、各12地区区長との意見交換会を9月に実施し、テーマなどを話し合う。

・開催のお知らせを、10月1

日に町広報に載せ、チラシを全戸配布、ポスターを提示。
・12行政区ごとに議会報告会を開催後、議会報告会班長会議を行い、報告会のまとめ、町当局への質問・要望をまとめる。
・町当局へ質問・要望への回答依頼。
・議員全体会議で町からの回答書の審査を行う。
・議会報告会班長会議で報告書をまとめ、編集を行う。

・「議会報告会まとめ」を「議会だより号外」として発行し、全戸配布する。
②議会報告会は、運営もまとめも議員がすべて取り仕切り、司会・報告・答弁・記録を議員が分担して行う。
③平成27年度の参加者数は全体で262人で、毎年250人から300人くらいの参加者で安定してきている。初めて参加する方は、約2割程度である。

3 東日本大震災後の復興状況

平成23年12月に策定された松島町震災復興5カ年計画に基づき、ほぼ計画どおり推進している。松島町内は、仮庁舎、避難場所や施設の整備もほぼ完了し、施設関係では約70%回復している。観光客も毎年約300万人で震災以前どおりに戻ってきている。それでもまだ、下水道等のインフラ整備等があり、人員の不足状態にある。

4 感想・まとめ

松島町議会の議会報告会は、滑川町議会が理想とする議会報告会に近く、9年間実施継続していることに、敬意を表したい。2011年の震災の時も若干遅れたが実施した。

滑川町も、今年2月12日（日）午後1時半より、第1回滑川町議会報告会を開催する。滑川町の町民と議会が意見交換を密にすることにより、行政にとつても良い緊張関係が生まれ、滑川町の一層の活性化に繋がるものと考えられる。



松島町仮庁舎内での研修

町政と問う 一般質問

1 北堀 一廣…………… P 7

- 農業委員選出のスケジュールは

2 森田 泰雄…………… P 8

- 地方創生と滑川町
- 受委託制度の活用

3 阿部 弘明…………… P 9

- 町の農業を守れ
- 子どもの貧困対策を考える
- オスプレイ訓練の安全性の確保は
- 自衛官募集について

4 井上 奈保子…………… P 10

- 被災地から学ぶ防災対策を
- 認知症にもっと理解を

5 菅間 孝夫…………… P 11

- いじめ対応は最優先業務に

- 補助金等・物件費の見直しは

- 羽尾十三塚・カニ山地区の区画整理の見直しは

6 松本 幾雄…………… P 12

- 台風9号について
- 有害鳥獣捕獲の充実を

7 上野 廣…………… P 13

- 羽尾カニ山地区の逆線引き解消の見直しは
- 地球温暖化対策実行計画の策定・実行を

8 宮島 一夫…………… P 14

- 道徳教育といじめについて
- 平和活動の継続を
- 埋蔵文化財の活用
- 生活道路の整備を問う

【一般質問とは】

議員が町の行財政にわたる執行状況や将来への方針等について所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点を質すこと。

請願

「建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願」

請願者 小川町大塚

埼玉土建 折原 官

ほか1名

審議結果

本会議に於いて審査の結果「採択すべきもの」と決定し、次の意見書を国に対して送付しました。

意見書

建設アスベスト訴訟の早期解決と被害者の救済を求める意見書（要旨）

アスベストを原因とする疾患は、重篤で完治はありえず、原告の中でも訴訟後、138人（平成28年10月末現在）が亡くなっています。

滑川町議会としても「アスベストによる全ての被害者に対する早期の解決と救済」を強く望むものです。

よって、アスベスト訴訟の早期解決を求める意見書を地方自治法第99条の規定により国に提出しました。



北堀一廣 議員

農業委員会法の改正法案について

新たに農地利用最適化推進委員を委嘱する

農業委員選出のスケジュールは

問 法改正に向けて条例の変更が必要と考えられるが、そのスケジュールについてどのように考えているか。

答 条例案については、平成29年9月議会に上程を予定している。農業委員の議会での同意については、平成30年3月議会での上程を予定している。

問 改選にあたり農業委員の選出方法は、個人、団体からの推薦、公募により選任を行うことになっている。

問 今回の改正により新たに設けられる、農地利用最適化推進委員の役割は。

答 担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止、解消、新規参入と示されている。

問 滑川町農業委員会委員定数条例の改正を予定しているようだが、人数の見直しはあるのか。

答 農業委員の上限が14名、農地最適化推進委員の上限が9名となっている。

問 農業委員になるための要件は何かあるのか。

答 認定農業者が委員の過半数を占め、利害関係を

有しない委員を含まなければならぬ。

問 現在滑川町に認定農業者は何人いるのか、また構成はどのようになっているのか。

答 認定農業者数は46人で、法人が4団体である。

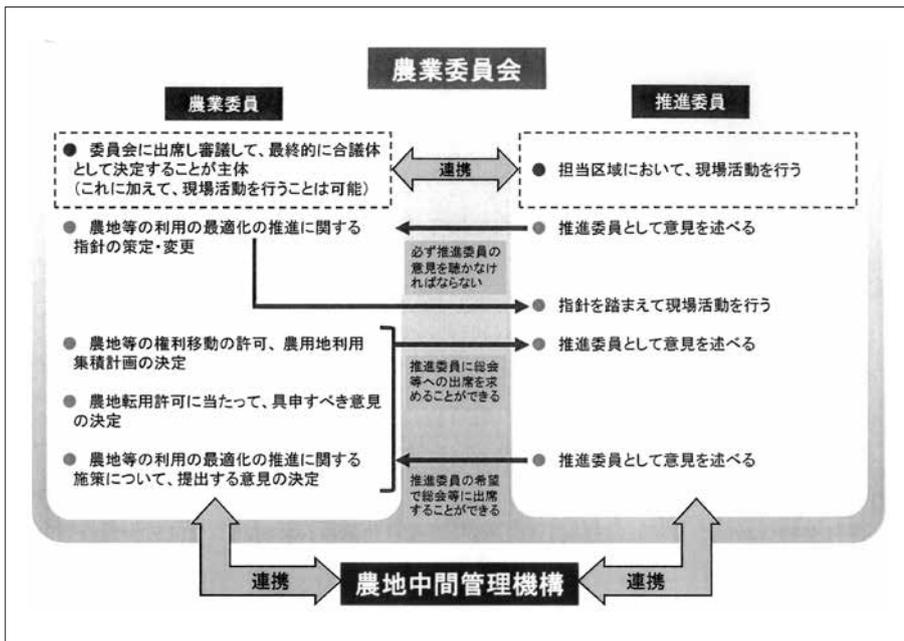
問 農業委員の選出方法が変わるわけだが、町民の方々の周知はどのように考

えているのか。

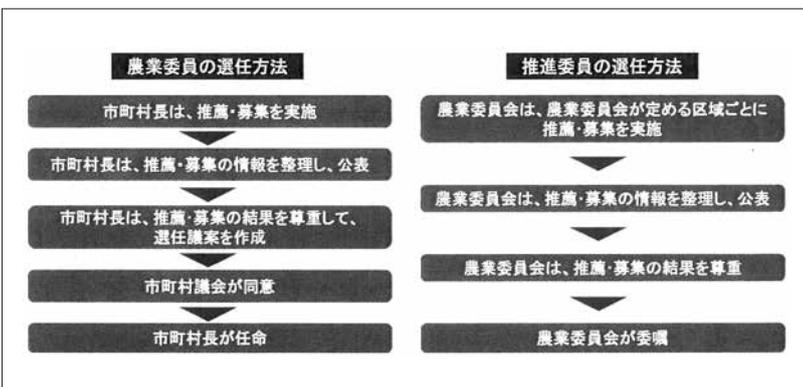
答 町の広報紙およびホームページ、町内回覧、JA埼玉中央滑川支店に協力依頼し、農家組合長経由での回覧等による周知を考えている。

【要望】

平成30年の改選に合わせ、準備を進めているようだが、我々議会側も今後勉強していきたい。所管の常任委員会、あるいは他の協議会等において、詳細な説明をお願いしたい。



農業委員会の役割



選任方法の流れ



森田泰雄 議員

地方創生特区の申請は

財政状況をふまえ 関係機関と協議検討する

地方創生と滑川町

問

地方創生の目的は、地方の人口減少に歯止めをかけ首都圏の人口集中を是正し、地方の自立的な活性化を促すための取り組みである。

この度、安倍首相の下で地方創生特区として第1弾が決定した。内容は仙北、仙台、愛知の3地区であり、指定に当たり各市町村より206件の提出がされ審査が行われた。

第2弾として、目標は人口減少対策と、地域活性化による経済政策が、重要なテーマである。

滑川町は、地方創生発足以前から、人口減少に取り組む、実績を残している。

これらを勘案して、第2弾の地方創生特区の申請をお願いしたい。

○申請の理由

人口の推移を見ても比企郡内では大幅に人口減少が進む中で、滑川町のみが増加していることを強調して特区の申請をしていたきたい。

給食費の無償化が、これだけ人口減少に歯止めを掛けることが実証されているので、給食費の無償化を止めることはできない。特区の申請をして、交付金を早く確保できるようにしていただきたい。

申請するには、自民党員で地元選出の衆議院議員に相談の上、申請が良いとされている。

以上のような理由で、地方創生特区の申請をお願いしたい。

答

町では、地方創生先行型交付金を活用し、「地域資源(柿)を活用した農業ビジネスモデル創造事業」や地方創生加速化交付金を活用し、「特産品の市場拡大とブランド化推進事業」に取り組みることができた。

今後は政府の第2弾の地方創生特区の内容を研究し財政状況を踏まえ、関係機関と協議検討していく。

受委託制度の活用

問

圃場整備もほとんど済んで美田と化している。

現在は認定農業者による耕作が行われている。このままでいくと、認定農業者は減少してしまう。受委託制度があるが、認定農業者と合わせて活用を検討していただきたい。

答

アグリサービスが設立され、農家の受委託が行われているが、地元での受委託と合わせ、今後外部も選択肢の一つに行いたい。

■滑川町の実態 (27年度)

○給食費負担

- 滑川町負担
幼稚園、小学校、中学校 82,950,726円…①
- 町外利用者向け負担
保育園、幼稚園、小学校、中学校 9,204,430円…②
合計(①+②)=92,155,156円…③

○子ども医療費負担 27年度 18歳まで
81,206,759 - 県補助金 8,997,947 = 72,208,812円…④

○町の負担総合計 ③+④=164,363,968円

■出生率と人口の推計

出生率		人口の推計		
		現在(H28.10.1)	2040年	2060年
全 国	1.42			
埼玉県	1.31	7,323万人	700万人	700万人下回る
滑川町	1.37	18,208人	21,000人	22,000人
嵐山町	1.10	18,111人	14,620人	12,260人
小川町	0.92	31,226人	22,206人	17,000人
ときがわ町	0.77	11,690人	8,567人	7,191人
川島町	1.04	20,801人	16,244人	13,097人
吉見町	0.93	19,847人	17,196人	15,000人
東秩父村	1.06			
東松山市	1.21	89,819人	79,767人	特定なし



阿部弘明 議員

若者が希望を持てる農業政策を

町のため池農業を「世界農業遺産」へ

町の農業を守れ

問 農業の危機が広がっている。農業就業人口は初めて200万人を割り、食料自給率は39%で先進諸国で最低。農家は「米作って、飯食えない」と悲鳴を上げています。千葉県匝瑳市では、農業



千葉県匝瑳市のソーラーシェアリングシステム
太陽光パネルとその下で作物を栽培している

をやりながら耕地の上で太陽光発電を行い、売電で収入を得るなど模索している。若い世代が継承していける農業施策を望む。

答 町は「シニア農業」を推進し、谷津田米、武州ころ柿、日本和栗ぼろたん、直売所の充実、6次産業化を推進する。農業に光を当てるため「ため池農業」の「世界農業遺産」登録の申請を進める。

子どもの貧困対策を考える

問 「子どもの貧困率」が過去最悪を更新した。貧困の連鎖が生まれかねない。福島瑞穂議員が滑川町の例を出して、給食費の無償化を国として行うよう要望した。先

進的な子育て支援政策を行ってきた滑川町が国の制度化へむけて運動を。

答 就学援助費は平成27年度で要保護3人、準要保護107人。また、スクールソーシャルワーカーの配置で連携強化、支援の充実を図っている。給食費の無償化は子育て支援、少子化対策、子供の貧困対策として、今後も国への要望を進める。

オスプレイ訓練の安全性の確保は

問 町上空で低空飛行をしている米軍機に加えて、オスプレイが訓練を行うおそれもあ

る。オスプレイ配備について町の対応は。

答 オスプレイ配備について町への説明はない。オスプレイを含め、国の安全保障については国の専管事項であり、国の責任で自治体、住民に対して説明を行うべきだ。

自衛官募集について

問 南スーダンなどで自衛隊員の犠牲者が生まれかねない。自衛官を送る家族が泣いていた。先日、戦没者追悼式が行われ、遺族の悲しみからも安易な募集活動は控えるべきだ。子どもの権利条約は「18歳未満の自国の軍隊の構成員が敵対行為に直接参加しないこと」および「低年齢の募集を禁止しているが」。

答 法定受託事務である自衛官採用試験案内は広報紙で行っている。災害救助活動なども行う自衛官の募集事務は重要と認識している。



戦争の犠牲になった町の若者262人を追悼する式典が11月19日に行われた

避難行動要支援者への 救助訓練の必要は

来年予定の 防災訓練の中で検討



井上奈保子 議員

被災地から学ぶ防災対策を

問 ここ数年間に国内外

で自然災害が多発している。私たちは、災害時に安心してまず命を守ることが優先であり、日頃から災害後対処訓練だけでなく災害予防訓練を行うことが大切であると考えている。町では「防災会議」が設置されており、平成28年3月に「滑川町地域防災計画」を策定した。都道府県の防災会の委員に女性の占める割合を平成32年に30%との目標を掲げており、国も女性の参画を促している。滑川町の女性の委員は。

答 委員25名中、女性は1名である。

問 町の「防災計画」をもっと利用しやすいものにしては。

答 現在、携帯マニュアルを作成中。後で配布の予定。

問 町では災害発生時の避難行動要支援者に対し、支援関係者に必要となる避難支援プラン等により協力をお願いしている。町で2年ごとに「地域防災訓練」を実施している中で、これらの訓



防災訓練

練も行ってはどうか。

答 来年予定している訓練で考えていきたい。

問 東日本大震災や熊本地震では避難所運営等で多方面にわたって問題があった。避難所で必要となる衛生用品の紙おむつや生理用品等、県内23市町村の内8町村がこれら全てを備蓄していな

かった。その中に「滑川町」も入っていたことが報じられた。現在の状況は。

答 再度確認し、備えるようにしたい。

【要望】

弱者、女性の目線に立つての対応をお願いしたい。

認知症にもっと理解を

問 高齢化の進む中、認知症の人たちも急増している。行方不明・身元不明発見のためのシステムである「埼玉県認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク」がある。最近の活用状況は。

答 平成28年4月から現在まで、県内100件、関東圏外52件、圏内64件、合計216件。滑川町からの他市町への依頼は0件である。

問 町でも健診項目に「認知症診断」を取り入れては。

答 県が平成28年度事業として新たに認知症健診事業を実施している。実施市町村に対し、一人当たり2,000円の費用を埼玉県国民健康保険財政調整交付金から支援をする。個人負担はない。対象は国保加入者。医療機関での実施となる。



菅間孝夫 議員

いじめ対応は 最優先業務に

早期発見・早期解決に 努める

町内の子供のいじめは

問 青森県下をはじめ中
学生の自殺が多く残され
た遺書から「いじめ」が原因
の報道が多い。町内の昨年度
のいじめの把握手段と認知件
数をうかがう。

答 いじめの把握はアン
ケート・個別面談・三
者面談などで行っている。昨
年は小学校23件(前年比2件
増)、中学校18件(同12件増)
の認知があるが早期に発見し
解決している。重大事態は0
件である。認知数の増加は、
小さなことでも報告するとい
う意識の高まりによる。

いじめの原因を問う

問 表面化した具体例は。

いじめ対応「最優先業務」



いじめ対応報道

答 冷やかしの、からかい、
悪口、脅し文句、軽くぶ
つかる・叩く・蹴る、いやな
ことを言う、仲間はずれ、無
視する等である。

問 いじめ対応は最優先
業務であると文科省の有
識者会議は提言しているが、
町の考えや取り組みは。

答 最優先業務と考えてい
る。教職員の負担軽減の
ために、校務支援システムを
導入することで、教職員が児
童生徒と向き合える時間を生
み出している。また今年度か
らスクールソーシャルワ
ーカーを配置し、関係機関との
連絡を密に早期発見・早期解
決に努めている。

補助金等物件費の見直しは

問 町財政が厳しい中、財
源確保のため補助金・物
件費(賃金・旅費・委託料・
使用料賃借料・備品購入など)
の見直しは。

町財政が厳しい中、財
源確保のため補助金・物
件費(賃金・旅費・委託料・
使用料賃借料・備品購入など)
の見直しは。

答 補助金(助成金)等は
260種類にも及び、総
額は13億円余りである。国や
県の財源のものもあるが、多
くは貴重な町民の税金であ
る。見直しはこれからも継続
して実施していく。

十三塚カニ山の区画整理は

問 十三塚は、道路・下水
道整備・低地の排水・廃
屋の処理など生活に直結する
諸問題が取り残されている。
町長はカニ山地区と合わせ
区画整理をすると公約し、任
期中に目鼻を付けたいと聞い
ているが見通しは。

十三塚地区の水はけのでき
ない家は一年中玄関前に土の
うを常備している。安心して
生活できるよう改善をお願い
する。

【要望】

答 区画整理が解決への最
良の方策であるが、現在
当町の属する県央道地域には
その枠がない。人口の伸びて
いる地域には、柔軟性を持つ
て都市計画の変更をするよ
う、県に要望している。
町道9303号線の旧鉄
道敷は慎重に整備を進めてい
る。



土のうを常備している民家



松本幾雄 議員

災害に強い町づくりを 今後の対応と対策は

被害を最小限になるよう 全力で取り組む

台風6号について

問

8月22日、非常に勢力の強い台風の接近に伴い、町は朝から大雨に見舞われ、午前4時25分、大雨・洪水警報、雷強風注意報が発令。豪雨は、午後5時頃まで継続し、降水量累計は145mmに達した。近年に無い大きな被害となった。住宅購入等の際は、行政も良きアドバイスをしては。

答

午前11時30分には、対策会議を開き、警戒体制第2配備をとり、対策にあたった。午後2時、熊谷気象台から、数十年に一度の降雨量で、特別警報に近いので十分注意されたいとの発表。住宅の床上・床下浸水の被害はなかったが、非常に強い降雨で、雨水が宅地内へ入り込む

などの被害が町内で4箇所発生し、土のうを設置するなどして対応した。町内では、開発等が進み、過去に想定されなかった場所で被害が発生している。今後は、開発業者に開発地域の排水対策を十分講じるよう指導するとともに、関係各課と連携し、自然災害による被害が起きても最小限度ですむよう、全力で取り組んでいく。

有害鳥獣捕獲の充実を

問

近年生態系がくずれ、比企管内でもイノシシ・シカ・アライグマ・ハク



冠水した町道(月輪)

ビシン等の異常繁殖が進み、県では、報奨金を出して駆除に当たっているのが現状である。11月11日群馬県桐生市で、男性(67才)がイノシシに襲われ死亡、妻も負傷、11月23日月輪(ボッシュ)国道254号線下り車線でイノシシ150kg以上と軽自動車が激突しイノシシは死亡。昨年は、イノシシ20頭が捕獲されたが、約95%がこども。親イノシシは、箱わな・くくりわなの周囲には大きな足跡はあるが、捕獲されていない。高齢者および子どもたちの登下校が、とても懸念される。事故の発生する前に、一日も早い

法整備を。

答

町内で出没しているイノシシ対策だが、最近では民家の庭先にまで出没してきており、庁内3課1委員会、猟友会滑川支部・東松山警察署を交えた対策調整会議を行っている。現在のイノシシ等の駆除については、(鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律)の第9条第2項(上位法)に基づき捕獲許可を受けて(有害鳥獣捕獲)を行っている。町の事務取扱要領では対応できない期間があり、適切な対応ができるように近隣市町村の内容を調査し、期間の延長を含め必要な条例整備について、迅速に対応していく。



出没するイノシシ

地球温暖化対策 実行計画の策定を

平成29年度策定予定



上野 廣 議員

地球温暖化対策
実行計画の策定・実行を

問 温室効果ガスの二大排出国である米国と中国が、COP21で歴史的合意に至った「パリ協定」を批准し、大きく前進した。日本では、温室効果ガスを2030年度までに2013年度比で26%削減する約束草案を提出し、さらに地球温暖化対策計画において、「2050年までに80%削減」との意欲的な長期目標を掲げている。このような動きに対応して、地方自治体も積極的に地球温暖化対策実行計画を策定している。埼玉県においても、ほとんどの自治体で地球温暖化対策実行計画を策定している。当町の地球温暖化対策実行計画の策定状況と、実行方針については。

答 平成28年度より、「第5次滑川町総合振興計画基本構想・前期基本計画」に基づき、町長を中心に、平成29年度策定を目標に、滑川町環境基本計画、滑川町地球温暖化対策実行計画事務事業編の準備を進めているところである。

羽尾カニ山地区の
逆線引きの解消の見通しは

問 滑川町は「第5次滑川町総合振興計画基本構想・前期基本計画」を策定し、その中で、約10年後の平成37年(2025年)人口2万人を目指している。その目標達成に重要な住宅系土地活用の一つが、森林公園駅周辺の区画整理事業である。その中で、森林公園駅に近いカニ山地区、かつて市街化地域であった地域が、当時の地主の意向で、暫定逆線引き地域になり市街化調整区域になっている。その解消が本地域の住宅開発の要である。埼玉県の南部地域では、同じような事例はいくつかある。県の指導の下、一刻も早く逆線引きを解消して市街化区域に戻し、十三塚地区を市街化区域に編入して現在の市街化区域を拡大し、東松山通線と合わせての区画整理事業のめどを早くつ

けるべきと考える。町の実行計画は。

答 現在、カニ山地区を含め区画整理計画区域の予定面積は、68〜70haであり、埼玉県知事、担当課に働きか

けているところである。大変厳しい状況ではあるが、市野川通線の開通や滑川町の人口増加の計画に必須の事業であり、一刻も早く県の事業枠が取れるよう、努力していく。



森林公園駅周辺の市街化調整区域（カニ山地区）



宮島一夫 議員

道徳教育で ゆたかな人格形成を

教育の基本は 道徳教育と考える

教育とくらしのこころ

問

最近いじめの問題が多く報道されている。この根にあるのは道徳教育の欠如と考える。お父さん、お母さんを大切にすする心、地域の人や文化を大切にすする心等しっかりと教育していく必要があると考える。滑川町ではいじめはあるのか、ないのか。あるとしたらどのように対応しているのか。

答

道徳教育は教育活動の根幹をなすものと考ええる。道徳の時間だけでなく、全ての教育活動を通して推進している。

滑川町では重大事態は発生していないが小さないじめはある。その都度個別的、内容によっては全体的に指導している。

平和活動の継続を

問

戦後71年が過ぎて平和で民主的な生活が続いている。しかし、この平和は多くの犠牲者の上に訪れたことを忘れてはならない。しかし、戦争を知らない世代が増え、今や平和を続けていく活動が求められていると考える。

町としても今までの活動に加えて①戦争体験者の講演会②戦没者追悼式の町主催実施を要請する。

埋蔵文化財の活用

問

町には貴重な文化財がたくさんある。保管しておくだけではその価値は半減する。役場のロビー、公民館等、人の多く集まる場所へ展示して町の人に見てもらったらどうか。

答

提案内容については今後検討していく。

生活道路の整備を問う

問

町道8001号線(月輪下組地区)については、道幅も狭く大変通行に困っている。早急な整備の実施を。

答

平成29年3月までに車のすれ違いのできる場所を一箇所整備する。

問

町道102号線のフランチの前からフジミ工研の南側までの区間、約400mが未整備のまま残っている。通行量も多く早急な整備が必要であるが。

答

補助事業の活用を含め整備を検討する。



給食風景



発掘した文化財

議会活動写真



滑川町敬老会
(滑川町総合体育館)

H28.10.13



埼玉県議会議員研修会
(フレサよしみ)

H28.10.20



全国町村議会広報研修会
(東京都 砂防会館)

H28.10.25



文教厚生常任委員協議会
(つきのわ保育園の視察)

H28.10.6



総務経済建設常任委員協議会
(町内の里づくり視察 上福田、谷津の里)

H28.10.11



総務経済建設常任委員協議会
(下水道等の現況調査 羽尾十三塚内の分譲地)

H28.10.11



本年もよろしくお願ひ申し上げます



第1回 滑川町議会報告会を開催します

町民の皆様と議員とが議会活動や町政について、自由に情報・意見を交換する場として開催します。事前申込は不要です。是非ご参加ください。

開催日時 平成29年 2月12日(日)
13時30分～15時30分(受付:13時～)

場 所 滑川町コミュニティセンター

内容 1. 各委員会からの活動報告
2. 町民の皆様との意見交換

編集後記

正月も終わり早いものでもう節分です。今年も豆まきを行いますか？ 子どもが成長するとやめてしまう家も多いようです。

昨年は、「福は内、鬼は内、悪魔外」の掛け声で有名な嵐山町の鬼鎮神社にこの声を聴きに行きました。神社以外にも、苗字に「鬼」が付く家では「福は内、鬼は内」だそうです。不動明王などご利益が強く、鬼が近寄れない寺などは「福は内」だけだそうです。

鬼とは陰に由来し、目に見えない邪気や自然災害、病気などの災いの象徴だそうです。

さて、追い払われた鬼はどこに逃げて行くのでしょうか。それは群馬県藤岡市鬼石町が多いそうです。町では毎年この鬼たちを集め「鬼恋節分祭」を開催し、町民こそって楽しんでいきます。今年は2月4日(土)ぜひ訪ねてみてはいかがでしょうか。

今年も「議会だより」をご愛読いただきますよう、お願ひ申し上げます。
(菅間孝夫)

【編集 議会広報発行対策特別委員会】

委員長 高坂清二
副委員長 松本幾雄
委員 北堀一廣
委員 宮島一夫
委員 菅間孝夫
委員 瀬上邦久
委員 吉田文夫

まちの未来が見える (12月定例会の傍聴者は15人)

議会傍聴においでください

次の定例会予定は3月7日～

この広報は、再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。